

【研究全体計画】

研究主題 確かな学力を身に付け、学び合う子どもの育成
～聴く力・話す力・話し合う力を高める指導法の工夫～

研究の重点

(1) 学び方を身に付け、自分の考えをもつことができる子どもを育てる。	(2) 自分の考えを表現し伝え合って、学び合う子どもを育てる。
研究の仮説(1)	研究の仮説(2)
読解力向上の手立てや問題解決的な指導を充実させることにより、見通しをもって自分で学習を進める方法を身に付け、自分の考えをもつことができるであろう。	自分の考えを表現させるための方法や場の設定など言語活動の充実を図ることにより、相手や目的、意図に応じて適切なことばで伝え合い、友達と学び合うことができるであろう。



具体的施策(1)	具体的施策(2)
①学習の手順や学び方の効果的な提示 ・「ねらい」につながる「問い」を生かすような体験的、問題解決的な学習過程の工夫 ・的確に読み取り、活用するための手立ての工夫 ・学年の発達段階に応じた学習スキルの定着 ②基礎・基本の定着 ・身に付けさせたい基礎・基本の明確化 ・授業の流れに沿った板書の工夫、ノート指導 ・習熟の時間の確保、繰り返し指導の充実	①言語活動の充実 ・付けたい力を明確にした言語活動を位置付けた授業の構成 ・自分の考えを表現する活動や伝え合う場の充実 ・言語環境の整備 ②学び合いの場の充実 ・積極的に発言したり意見交換したりできる「聴く力」「話す力」「話し合う力」の育成 ・ペアやグループ等の学習形態の効果的な活用 ・振り返りの場や方法の工夫

研究の方法

《日常の学習指導》	《授業研究会・研修会・その他》
1 学び方の育成 ①基本的な学習習慣の形成 ・「学習の約束」(東中ブロック)の継続的な指導 ②学習の手順や学び方の効果的な提示 ・学習スキルの定着 ・授業の流れに沿った板書の工夫 ・児童の思考を促すノート指導の充実 ③学び合いの場の充実 ・自分の考えを表現する活動や伝え合う場の工夫と充実 ・視点を明確にした発問や指示 ・根拠をしっかりと「聴く力」、根拠を明らかにして「話す力」、考えを出し合いつないでいく「話し合う力」の育成 ・学習形態の効果的な活用 ・学習内容を再構築し、次へつながる「振り返り」の工夫 2 基礎的・基本的な内容の定着 ①身に付けさせたい基礎・基本を明確にした指導の工夫 ・ねらいの吟味と目的意識をもたせる明確な課題の提示 ・体験的、問題解決的な学習過程の工夫 ・習熟の時間の確保 ②個に応じた指導の工夫 ・指導形態、指導方法の工夫・改善(TT・少人数指導) ・適切な評価とそれを生かした指導 ・朝学習の計画的実施 ・家庭学習の奨励(家庭学習の手引き) ・個別指導や補充学習の実施	1 指定・要請訪問授業研究会 ①県指定教科(特別活動) ②少人数加配校(理科) ③特別支援教育 ④各教科等 2 研修会 ①校内研修会(全体研修会、実技研修会等) ②校外研修 3 その他 ①夢と意欲を育む活動の充実 ・「夢の翼ファイル」の活用 ・ふるさと教育・キャリア教育の充実 ・教育ボランティアの活用 ②学習アンケート調査 ③各種学力調査等の分析と活用

